BikeJIN（倍倶人） 2015年7月号 [6/1]

情報量が2倍になって
さらに使いやすく！

ルート選択の幅が格段に広がる次世代情報サービス開始！

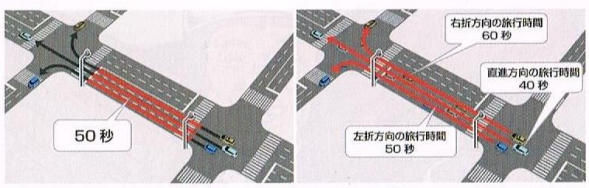
カーナビの地図上で赤や橙の線で渋滞情報を表示させていたVICS「VICSワイド」としてパワーアップした情報提供サービスの実力はいかに？

写真／道路交通情報センター、編集部　文／八百山ゆーすけ

交通情報を提供するVICSセンター

都道府県警察や道路管理者から日本道路交通情報センターに集められた交通情報を処理するのがVICSセンターの役目。この情報をFM多重放送、高速道路の電波ビーコン、主な一般幹線道路の光ビーコンの3つのメディアに合わせて編集し、カーナビに送信している

従来のVICSは道路上に設置された車両感知器が直下の車両の動きを監視して、渋滞の有無を判断していた。そのため、車両感知器が設置されていない道路では渋滞しているかどうかが分からず、空いていたとしてもその情報を提供することができなかった



VICS WIDEでは新たに車両から上がってくる移動時間の情報（プローブ情報）を活用。従来は一定区間の移動時間のみしか提供できなかったものが、右折、左折、直進とそれぞれの方向別の旅行時間が提供され、それを生かしたルート案内が可能となった

これまでなかった気象・災害情報も提供開始。50㎜/h以上の大雨が発生しているエリアの情報をもとにナビの地図上に表示できる

右左折まで踏まえた渋滞回避案内ができる

カーナビ上で渋滞情報を知ることができる道路交通情報サービスが「VICS（ビックス）」。現在、FMラジオ放送と高速道路上の電波ビーコン、主要幹線道路の光ビーコンという3つのメディアでVICS対応カーナビに情報が提供されている。これらの渋滞情報は地図上で道路に赤や橙の線を重ねて渋滞を示したり、ルート案内で渋滞を避けるためのデータとして活用されている。そんなVICSのうち、FM多重放送の伝送容量がこの春から2倍となり「VICSワイド」としてスタートした。

VICSワイドではこれまでFM多重放送では提供されていなかった一般道の旅行時間を、プローブ情報を基にした詳細なデータとして提供開始。これにより、対応カーナビでは旅行時間を基にした渋滞回避のルート案内ができるようになる。また、新たに地震を除く気象や津波の特別警報や、ゲリラ豪雨のエリアの情報提供もスタートした。今後順次対応カーナビやナビアプリとして、この新しいサービスが利用できるようになる。

取材協力：道路交通情報システムセンター　TEL0570-00-8831　http://www.vics.or.jp/index1.html